

数学Ⅱ・数学B

点Pにおける接線方程式は
 $y = f'(a)(x - a) + a^3$ で表せるので
 $f'(a) = 3a^2$ とあわせて

第2問 (必答問題) (配点 30)

$$\begin{aligned} y &= (3a^2)(x - a) + a^3 \\ &= (3a^2)x - (3a^3) + a^3 \\ &= (3a^2)x - 2a^3 \dots \end{aligned}$$

座標平面上で曲線 $y = x^3$ を C とし、放物線 $y = x^2 + px + q$ を D とする。

(1) 曲線 C 上の点 $P(a, a^3)$ における C の接線の方程式は

$$y = 3a^{\boxed{2}}x - \boxed{12}a^{\boxed{3}}$$

である。放物線 D は点 P を通り、 D の P における接線と、 C の P における接線が一致するとする。このとき、 p と q を a を用いて表すと

$$\begin{cases} p = 3a^{\boxed{2}} - \boxed{6}a \\ q = \boxed{カキ}a^3 + a^{\boxed{ク}} \end{cases} \dots\dots\dots \textcircled{1}$$

となる。

以下、 p, q は $\textcircled{1}$ を満たすとする。

(数学Ⅱ・数学B第2問は次ページに続く。)

放物線 D が点 P を通るので
 $a^3 = a^2 + pa + q$
 $q = a^3 - a^2 - pa \dots$

放物線 D の点 P における接線方程式の傾きと
 曲線 C の点 P における接線方程式の傾きは
 一致するので
 $3a^2 = 2a + p$
 $p = 3a^2 - 2a \dots$

より、

$$\begin{aligned} q &= a^3 - a^2 - pa \\ &= a^3 - a^2 - (3a^2 - 2a)a \\ &= a^3 - a^2 - 3a^3 + 2a^2 \\ &= -2a^3 + a^2 \end{aligned}$$

放物線Dが点Qを通るので

$$\begin{aligned} b &= 0 + 0 + q \\ &= q \\ &= -2a^3 + a^2 \end{aligned}$$

数学II・数学B

(2) 放物線Dがy軸上の与えられた点Q(0, b)を通るとき

$$b = \boxed{\text{ケコ}} a^3 + a^{\boxed{\text{サ}^2}} \dots\dots\dots \text{②}$$

が成り立つ。与えられたbに対して、②を満たすaの値の個数を調べよう。

そのために、関数

$$f(x) = \boxed{\text{ケコ}} x^3 + x^{\boxed{\text{サ}}}$$

文意より

$$\begin{aligned} f(x) &= -2x^3 + x^2 \\ \text{と考える} &\text{と、極値を取るの} \\ f'(x) &= 0 \text{ を解けばよいので} \end{aligned}$$

の増減を調べる。関数f(x)は、x = $\boxed{\text{シ}0}$ で極小値 $\boxed{\text{ス}0}$ をとり、

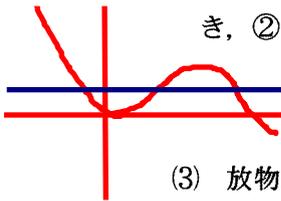
$$x = \frac{\boxed{\text{セ}1}}{\boxed{\text{ソ}3}} \text{ で極大値 } \frac{\boxed{\text{タ}1}}{\boxed{\text{チツ}27}}$$

$$\begin{aligned} f'(x) &= -6x^2 + 2x = -2x(3x - 1) \\ &= -2x(3x - 1) \text{ より} \\ x &= 0, 1/3 \text{ の時、極値を取る。} \\ f(0) &= 0 \\ f(1/3) &= -2(1/3)^3 + (1/3)^2 = 1/27 \end{aligned}$$

関数y=f(x)のグラフをかくことにより、 $\boxed{\text{ス}0} < b < 1/27$ のと

$$y = f(x) = -2x^3 + x^2$$

き、②を満たすaの値の個数は $\boxed{\text{テ}3}$ であることがわかる。



(3) 放物線Dの頂点がx軸上にあるのは、 $a = \boxed{\text{ト}0}$, $\frac{\boxed{\text{ナ}4}}{\boxed{\text{ニ}9}}$ の二つの場

合である。 $a = \boxed{\text{ト}0}$ のときの放物線をD₁, $a = \frac{\boxed{\text{ナ}4}}{\boxed{\text{ニ}9}}$ のときの放物線

をD₂とする。D₁, D₂とx軸で囲まれた図形の面積は $\frac{2 \times \boxed{\text{ヌ}4}}{3 \times \boxed{\text{ネ}10}}$ である。

放物線Dは

$$\begin{aligned} y &= x^2 + px + q \\ &= (x + p/2)^2 + (q - p^2/4) \end{aligned}$$

と変形できる。

頂点がx軸上にある

ので $x = -p/2$ の時、 $y = 0$ が成り立つ

よって

$$\begin{aligned} q - p^2/4 &= 0 \\ p^2 &= 4q \end{aligned}$$

$$\text{より } q = -2a^3 + a^2$$

$$p = 3a^2 - 2a \text{ なので}$$

$$(3a^2 - 2a)^2 = 4(-2a^3 + a^2)$$

$$9a^4 - 12a^3 + 4a^2 = -8a^3 + 4a^2$$

$$9a^4 - 12a^3 + 8a^3 + 4a^2 - 4a^2 = 0$$

$$9a^4 - 4a^3 = 0$$

$$a^3(9a - 4) = 0$$

$$a = 0, 4/9$$

$$a = 0 \quad p = 0, q = 0 \quad D_1: y = x^2$$

$$a = 4/9 \quad p = -8/27 \quad D_2: y = (x - 4/27)^2$$

D₁ と D₂ の交点のx座標は

$$x^2 = (x - 4/27)^2 \text{ より}$$

$$x^2 = x^2 - 2(4/27)x + (4/27)^2$$

$$0 = -2(4/27)x + (4/27)^2$$

$$2(4/27)x = (4/27)^2$$

$$2x = (4/27)$$

$$x = 2/27$$

よって求める面積は 下式で表せる。

$$\int_0^{2/27} x^2 dx + \int_{2/27}^{4/27} (x - 4/27)^2 dx$$

$$= 2 \left[\frac{1}{3} x^3 \right]_0^{2/27}$$

$$\begin{aligned} &= 2(1/3) \{2/(3^3)\}^3 \\ &= 2(2^3) \times (1/3) \times (1/3)^9 \\ &= 2^4 \times (1/3)^{10} \end{aligned}$$